

謹啓上 歳律云募の候

今年も残すところ僅かとなりました。感染症8波の襲来により、年末年始の行事の準備に頭を悩ます事になりそうです。年内の諸行事は、対策を講じ乍らも開催できました事、皆様のお陰と御礼申し上げます。皆様にとって、良いお年を迎えられることを祈念申し上げます。

頓首敬白

11月の報告

4日～6日	瑞泉寺本派安居会	於、瑞泉寺
7日	第1部 寶林寺先住職 石川大稔師遷化	
10日	愛知県水平社創立100周年記念集会 オンライン併用	於、名古屋市公会堂 大ホール
10日	名古屋禅センター坐禅会	於、名古屋禅センター
10日～11日	花園会寺院役員研修会	於、本山
16日	第7部 瑞應寺先住職 梶川孝順師遷化	
16日	第2回教区寺院セミナー	於、名古屋都市センター
19日～20日	無相教会称号取得者講習会	於、本山
22日	第67回花園会愛知西教区大会 ・教区寺院役員研修会	於、名古屋 徳源寺
25日～27日	前堂職法階取得研修会	於、本山

12月の予定

上旬	全費目催促状発送	
7日	人権週間記念講演会	於、名古屋市公会堂大ホール
8日	名古屋禅センター坐禅会	於、名古屋禅センター
15日	歳末助け合い托鉢 (青年僧の会)	於、犬山・瑞泉寺
23日	宗務本所、宗務所、宗務支所 御用納め (御用始め1月10日(火))	

< 報告 >

愛知県水平社創立100周年記念集会

第9部教化推進・人権擁護推進委員 会場参加 禅徳寺 二村元章

今から100年前、1922年3月に、全国水平社の創立大会が京都で開催され、日本で初めての人権宣言と言われる水平社宣言が採択されました。その8か月後の11月10日に愛知県水平社が創立され、愛知県においても差別に立ち向かおうという運動が始まりました。

水平社宣言は「人の世に熱あれ 人間に光あれ」と結ばれ、いわれのない偏見や差別に苦しむ被差別部落の人たちの思いを世の中に知らせるとともに、すべての人にとって人権が尊重され、自由で平等な社会を実現しようと呼びかけるものです。

宣言から100年、国において様々な法律の整備や諸施策の推進が図られ、国と県や市町村と連携した取組を進められてきたことと察しますが、残念ながら今もなお、部落差別に関しては、心理面における偏見、差別意識が依然として残っていることがうかがえるとともに、最近では、インターネットなどを利用して被差別部落の所在地などの情報を掲示・流布する差別事件なども起こっています。また部落差別以外にも、障害を理由とする差別、性的少数者に対する無理解や偏見、ヘイトスピーチなど、様々な人権課題が存在するとともにインターネットの普及などにより、人権に関する問題が複雑化、多様化しております。

愛知県は本年新たに「愛知県人権尊重の社会づくり条例」を制定し、4月1日から施行した。最後に、あらゆる人権に関する課題の解消を図るとともに、多様性を認め合い、誰一人取り残されることのない人権尊重の社会づくりのために、努力を続けていきたいと考えております。

愛知県水平社創立 100 周年記念集会

第 11 部教化推進・人権擁護推進委員

オンライン参加 東林寺 小池清彦

米騒動（1918 年）後に政党内閣が成立したのを契機に、民主主義を求める運動が活発になりました。被差別部落の方々が差別からの解放を求めて 1922 年全国水平社が京都で結成されました。愛知県では 1922 年 11 月 10 日に愛知県水平社が創立されました。部落解放・人権政策確立に向けた運動が展開されることになり、この運動は労働運動や農民運動とも連携されることとなります。愛知県における水平社に関する出来事を概観すると、創立された当初は差別発言をめぐる問題が多発し、やがて大きな事件へと発展していきました。戦後も差別発言をめぐる問題は後を絶たず、戸籍・雇用・婚姻にいたるまで様々な問題に水平社は取り組んできました。水平社の理念は「部落民自身の行動によって開放を期す」「経済の自由と職業の自由の獲得を期す」「人間性の原理に覚醒し人類最高の完成に向かって突進す」です。この理念のもと長年にわたる活動や愛知県の理解と協力により、部落差別問題は解消しつつあります。しかし、今日では新たに障害を理由とする差別やインターネットの普及による人権に関する差別問題など多様化してきております。「人の世に熱あれ、人間に光あれ」と宣言して設立された水平社の運動は新たな課題の解決に向けて活動が続けられ、令和 4 年には「愛知県人権尊重の社会づくり条例」が制定されるなど人権尊重の社会づくりのために貢献しています。

記念集会は 11 月 10 日、名古屋市公会堂で午後 1 時から 4 時まで開催されました。開会セレモニーに続いて、水平社博物館館長 駒井之之先生の「水平社創立宣言の熱と光」と題した講演と、愛知部落解放・人権研究所理事長 近昭和昭先生の「愛知県水平社をふりかえって」の 2 題の講演がありました。差別撤廃や人権確立に向けた取り組みについての貴重な講演を拝聴することができましたことに感謝申し上げます。合わせまして関係各位のご尽力に深謝申し上げます。

第二回教区寺院セミナー報告

第 13 部寺院セミナー委員 圓光寺 山田義峰

11 月 16 日、名古屋都市センターにて兵庫県神戸市須磨寺の副住職である、小池陽人師を招き「話し方」をテーマに講義をして頂きました。

講座 1 では小池師は在家出身であること、多摩ニュータウンという仏教とは全く縁の無い都会で生まれ育ち、母親の実家である須磨寺の副住職になるまでの生い立ち、また須磨寺で実際に檀家さんに話している法話を拝聴致しました。子供のころからの親友が鬱病になった事や、小池氏の祖母が亡くなった時のエピソードなど、小池氏が実際に体験した事をベースにお話をされており、聞いている側としてもイメージのしやすく、まるで法話に吸い込まれていくようなお話でした。

講座 2 では YouTube や Twitter などの SNS を使ったお寺の活動、その活動から生まれた新たな可能性についてお話されました。小池氏は YouTube チャンネル登録者数、約 5 万 2000 人。動画投稿数 330 本以上など非常に势力的に活動をされています。また宗派を超えて「また会いたい和尚さん」を、法話を聞いて決める H-1 法話グランプリ 第一回優勝されるなど多方面に活躍されており、檀家の減少、「寺院」と「家」も関係から「僧侶」と「個人」の関係への変化、お寺や仏教と縁の無い人へ偶発的に届く可能性があるなど YouTube 法話をはじめた理由などもお話されました。その努力もあり、法務の仕事が増えたり、お参りに来られる方が増えた事、少しではあるが須磨寺の目の前にある商店街に活気が戻った事など、村起こしの一環としても貢献ができたなどのお話をされ、最後には撮影の際の目線だったり、背伸びをした内容は話さない、どれだけ長くても 10 分以内などのテクニックも教えて頂きました。

今回の講義を通して、小池氏の布教に対する熱い気持ちがとても伝わってきました。自分が行ってきた活動が一人でも多くの人に届くようにと思う気持ちに、私自身も小池さんのファンになりました。更なるご活躍とご健勝をお祈りいたします。皆様も小池陽人で検索してみてください。

11月22日10時から徳源寺を会場に「教区寺院役員研修会」が開催されました。毎年本山にて法皇忌（11月11日）が厳修されるときに合わせて開催されていますが、今年度より各教区でもより多くの役員様に研修会に参加していただける機会をと創設されました。コロナ禍での開催となりましたが、本派から花園会本部課長 畠中寿浩師に御出向いただき、今年度テーマ「寺院役員的心得と役割」サブテーマ「みんなのお寺」と題し資料を基に1時間、宗教法人の仕組みを始め寺院の役割、取り組みなどを解説頂き、役員様からの質疑にも丁寧に分かり易く説明して頂きました。初の研修会ではありましたが寺院の在り方を知る良い機会であったと、役員様からの反応も好感の持てる研修会で合ったように伺えました。終了後、午後から開催されます愛知西教区大会に引き続き参加を頂く間、昼食をとって頂き、空いた時間を徳源寺様のご厚意により、開山堂と禅堂を拝観させて頂きました。研修会の中で法系の話などもあった後での拝観となり、より一層感慨深げに拝観をされていました。

今までの様な布教行事が出来ない昨今、お寺に近い檀信徒様に今一度、お寺の役割を理解して頂き、発信していただく事はとても良い機会と感じました。

第67回花園会愛知西教区大会

11月22日（火曜日）13時半から徳源寺様を会場に花園会総裁代理として江松軒老大師をお迎えして「第67回花園会愛知西教区大会」を開催しました。

教区花園部会長、花園女性部会長には、午前の寺院役員研修会に引き続きご参加頂き、本派花園会本部長 小林秀嶽師、教区宗議会議員様、宗務支所長様、各部推進委員様、教区役員53名の参加。本年度テーマ「おかげさま」向き合いよりそう 衆生無辺誓願度と題し、花園本部長の基調講演を拝聴、花園会部会長 佐久間真弓氏から大会宣言文『私たち花園会員は、花園会テーマである、「おかげさま」の教えを学びました。日々過ごす生活の中で、まず自分に向き合い人に寄り添う事の大切さに気づくように努めます。』と宣言し無事、閉会されました。

<各研修会等 案内>

◎花園禅塾 入塾希望者受付

◎本山寺庭婦人研修会 開講

正法輪 第72巻12月号に記載

《 令和4年度予定 》

令和5年

2月20日(月) 第3回教区寺院セミナー
内容 未定

於、名古屋市都市センター